

舗装復旧構造標準断面図

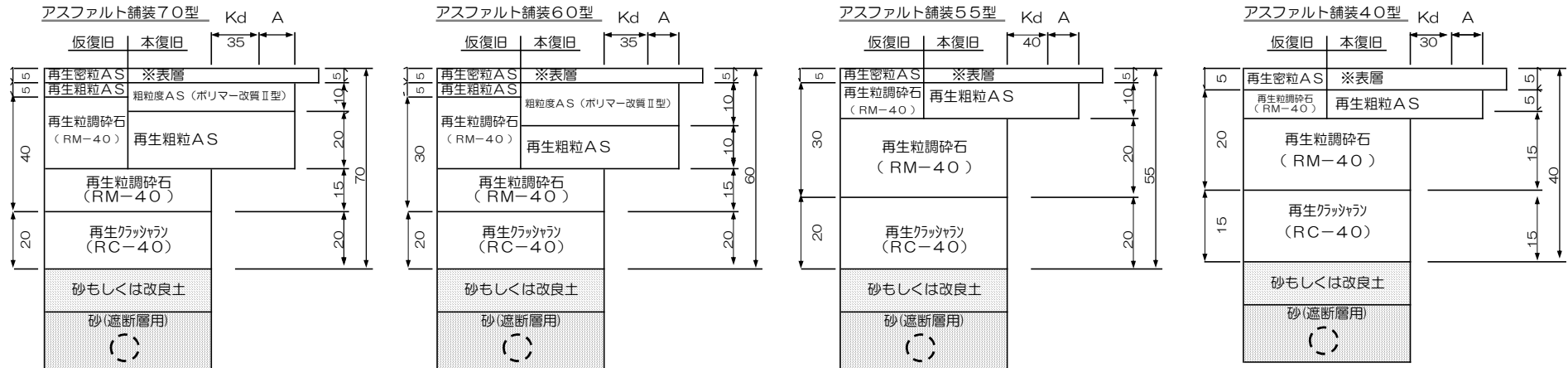
(路盤先行の場合)

参考資料

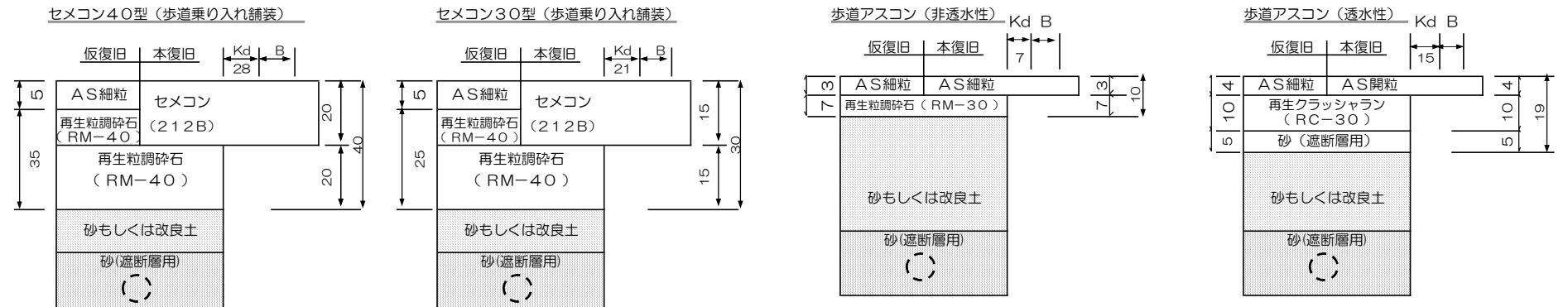
現場条件により適用が困難な場合は、
この限りではありません。
適用については、当所と協議願います。

※表層部について		
舗装種別	交差点部・一般部	低騒音舗装部
60・70型	密粒度AS（ポリマー改質Ⅱ型）	ポラスAS（ポリマー改質H型）
40・55型	再生密粒AS	

(単位：cm)



A＝車道部の目地までの距離
 （但し、A＞1.5 → A＝0とする）



※インターロッキングブロック舗装の場合は別途相談願います。

B＝歩道部の目地までの距離
 （但し、B＞0.6 → B＝0とする）

※竣工時には、路盤が確認できるようにすること。（仮復旧時の写真等）

※歩道部の影響範囲については原則自主査定願います。（広幅員等特殊な場合を除く）

$$Kd = \begin{matrix} \text{(アスファルト舗装; 1.0)} \\ \text{(セメコン舗装; 1.4)} \end{matrix} \times \text{(路盤厚)}$$

インターロッキングブロック部 舗装復旧構造標準断面図

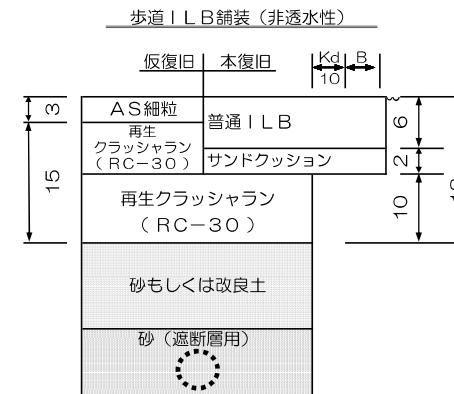
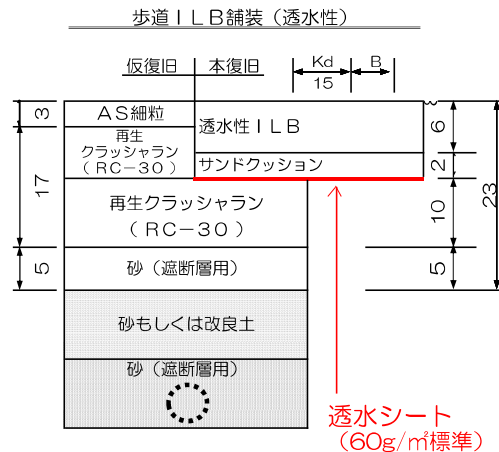
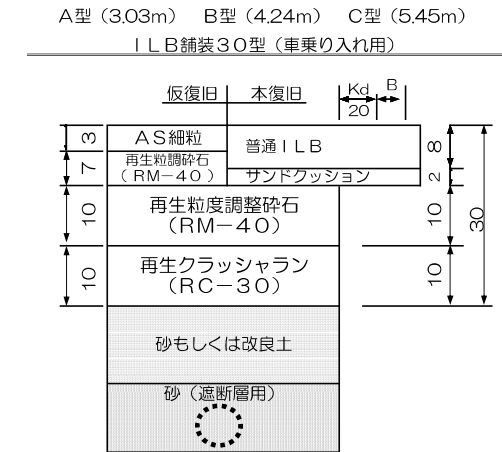
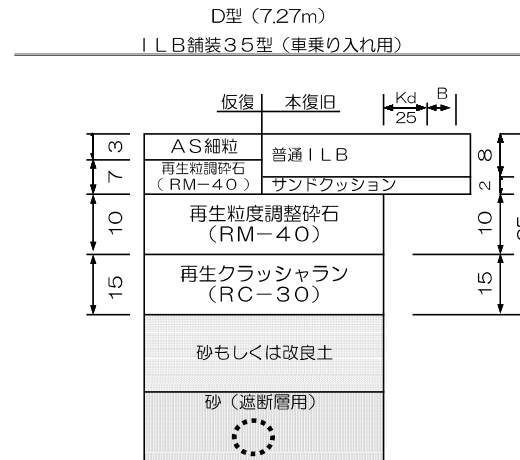
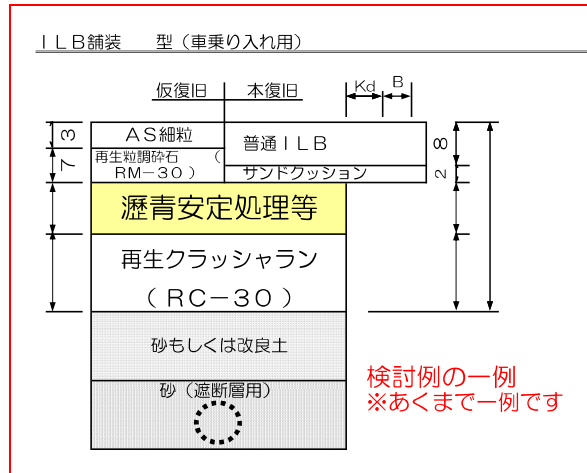
(路盤先行の場合)

参考資料

現場条件により適用が困難な場合は、この限りではありません。適用については、当所と協議願います。

※構造については、現場の排水性等を判断して別途検討する場合があります。

(単位；cm)



B=歩道部の目地までの距離
(但し、 $B > 0.6 \rightarrow B = 0$ とする)

※竣工時には、路盤が確認できるようにすること。(仮復旧時の写真等)

※車乗入れ部の舗装構造に関しては、別途検討が必要な場合があります。